

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：2008年11月15日(土)

ヘアゴムメーカー最大手

津久井町鳥屋に株式会社イノウエの井上旭社長を訪ねました。昭和3年創業。国内1、2を競う組み紐メーカーであり女性の髪を束ねるヘアゴムでは国内市場の約70パーセントを握る最大手。

イノウエが手がける商品は時代とともに大きく変わった。創業当時は掛け軸の紐、本のしおり紐などの装飾用の紐。戦時中は落下傘やテントなど軍事用の紐。戦後はテレビ、アイロンなど電化製品のコード被覆用の紐。昭和50年代後半からはヘアゴムが主力製品となっている。

「同業者と同じことをやっていると生きていけない時代がやってくる」と危機感を抱いた井上社長が創業者の父親に反対されながらも開発に取り組んだのがヘアゴム。今では月産170万個の大ヒット商品となりイノウエの屋台骨を支える。

5年間で3,500社が800社にまで激減するような厳しい業界にあつて順調に売上げを伸ばしているのは何故か。「常に社会の動きやお客さまの声に耳を傾け、新しい商品の開発や改良に取り組んできました」と井上社長は話す。「10年前から毎月第3水曜日の午後、全従業員を集め前月の売上、仕入、経費を報告しています。みんなの努力が会社の利益、そして従業員の給料や賞与につながっていることを理解してもらっています」「従業員を褒めることを忘れてはいけません。良いと思ったことは、言葉に出して褒めるように心がけています」とも話す。

夏の暑気払い、暮れの忘年会、従業員の誕生日会といった催しも欠かさない。常に時代を先取りする商品開発力とともに従業員を大切にしている経営がこの会社の成長を支えている。

地域企業紹介 その 1

従業員を大切にしている経営が会社の成長を支えている

株式会社イノウエ

代表取締役：井上 旭

所在地：神奈川県相模原市津久井町鳥屋750

資本金：1000万円 年商：6億円 創業：1928年(昭和3年)5月

事業内容：ゴムひも、手芸用組み紐製造販売、産業資材、

衣料、装粧品、装飾、包装

従業員数 社内スタッフ30名 社外スタッフ200名

ウェブサイト：<http://www.inoue-braid.co.jp/>

株式会社 エフ・ティ・エス コーポレーション

低温・低ダメージ薄膜形成の量産を実現

(株)エフ・ティ・エスコーポレーションは、代表取締役の門倉貞夫氏が、大手化学系企業での薄膜材料の加工に関する長年の研究をもとに創業したもので、独自開発した新対向ターゲット式スパッタリング(NFTS)をコア技術に、これまで困難とされていた量産性に優れた低温・低ダメージ薄膜形成を実現し、大学・企業の研究開発部門での先端材料開発の一翼を担っている。

NFTS技術の特長は、薄膜材料となるターゲットを対向させた空間内にプラズマを形成し閉じ込めるプラズマ拘束技術にある。基板表面はプラズマから放出される大量の電子や高エネルギー粒子の衝突の影響を受けにくく、低温・低ダメージで高品質な薄膜を形成することができる。

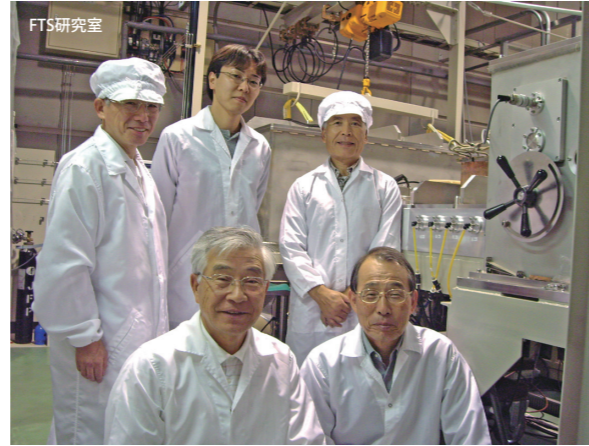
これらの特長により、NFTS技術は、従来型のスパッタ技術では難しいとさ

れる(1)磁性薄膜、(2)金属ターゲットを用いた反応性スパッタによる酸化膜、(3)窒化膜の高速成膜、(4)半導体や多層光学薄膜で重要となる良好な界面形成をそれぞれ実現した。

現在注目されている有機ELディスプレイでの有機物上への透明電極形成をはじめ、低温・低ダメージによる良好な界面を必要とする薄膜形成装置として、様々な分野で使用されている。

また、NFTS技術を用いた製品開発として、省エネ効果の高い透明断熱フィルムの事業化を目指した研究開発を進めている。これは、1m幅PETフィルムに対し、冷却ロールを必要としないシンプルな構造のセミ生産用装置を用いて、酸化膜/銀合金薄膜の多層構造を形成させるもので、省エネルギーに貢献する技術に育ってきている。

この他にも、様々な分野のお客様に



対応するため、SICに完備した実験装置を使用し、テスト成膜やサンプルの作製を行っている。「従来のドライプロセスでお困りの方は、気軽にご相談いただきたい。」と同社若手研究員の中光氏は話す。

<連絡先>

(株) エフ・ティ・エスコーポレーション相模原研究室
所在地：〒229-1131 神奈川県相模原市西橋本5-4-21
さがみはら産業創造センター SIC1-101,102号室
電話：042-770-9403 FAX：042-770-9403
ウェブ：http://www.ftsc.co.jp/

松尾昭享コーチングオフィス

やる気の秘訣は『コーチング』にあり

松尾昭享(まつおあきら)コーチングオフィスは、平成17年に設立、平成20年に事業拠点をSICに移した。コーチングを主体に事業活動を行い、企業・自治体等むけの「集合型研修」、個人のやる気を引き出す「個別コーチング」をメインに事業活動を行っている。代表の松尾昭享氏は、福岡県北九州市生まれ。高校では甲子園に出場し、大学・実業団とプロ野球を目指した程の選手。持ち前の心の強さはこの時に鍛えられたもの。

大手保険会社では営業マネジャー。私立高校では国語教師、野球部のコーチを務める。その後研修会社を経て「コーチ」となる。

事業は「コーチング」が柱である。「コーチング」とは目標達成や課題解決をサポートすること。気づきを生み

出し自己解決能力を促進。自発的行動を促すのが「コーチ」(松尾氏)。

松尾昭享氏は2種類のコーチングを行っている。1つ目は、1to1で行うコーチング。1回約30分~60分、松尾氏から個別のコーチングを定期的に受けることで、自己解決能力(セルフコーチング)が高まり、目標管理や課題解決への道筋が明らかになるというもの。2つ目は、企業・自治体向けの「集合型研修」。銀行・大手電気メーカー・自治体等へモチベーションアップ研修や管理職向けの階層別研修等を実施している。

※公開セミナーのお知らせ

12月13日(土) 13:30~16:30 社のホールはしもと「スポーツ指導者専門セミナー“教えない育成手法”」

<連絡先>

松尾昭享(まつおあきら)コーチングオフィス
所在地：さがみはら産業創造センターSIC1-315号室
ウェブ：http://www.lucky-mco.jp/

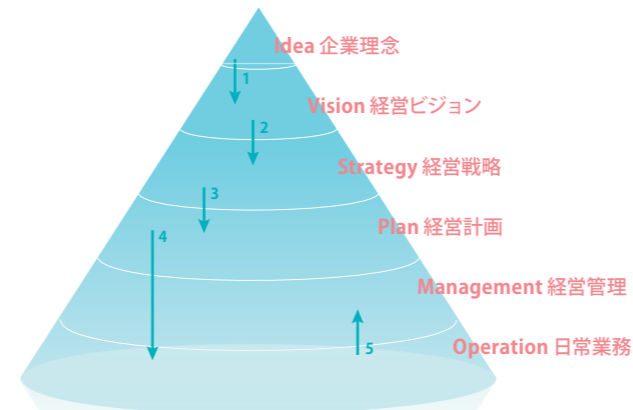
事業構想で会社を変える

株式会社浜銀総研 経営コンサルティング部
部長 寺本 明輝(てらもとあきてる)

企業が持続的に存続していくためには、自社の経営のあるべき姿とその実現のための打ち手を示す事業構想(具体的には、企業理念・経営ビジョン・経営戦略・経営計画から構成される)が必要不可欠となります。

事業構想力が企業間格差を決定づける

事業構想は、企業間格差を決定づける重要な要因となります。長期にわたって好業績を維持している企業からは、ほとんど例外なく、自社の事業の大きな流れをイメージさせる構想(デザイン)とそれを前提とした行動(アクション)が組織内に浸透している、といった特徴を見出すことができます。

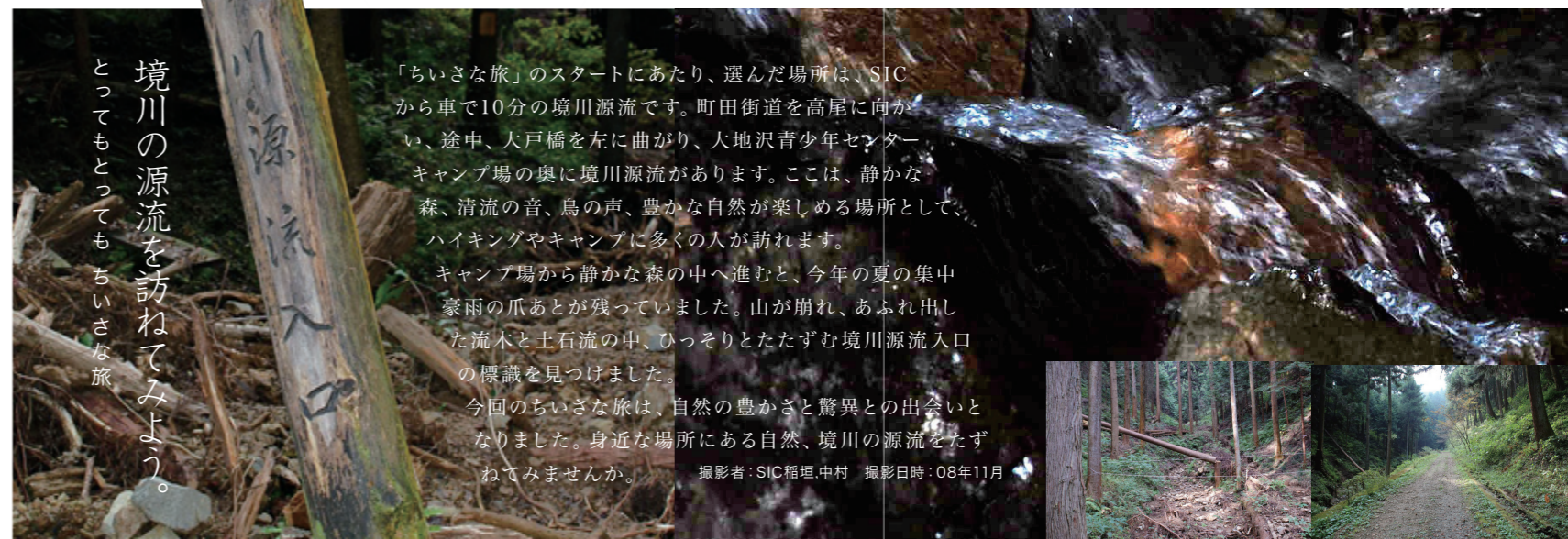


事業構想で明らかにする7つ指針

実際の事業構想では、次の点を明確に示すことが求められます。

1. 自社の使命は何ですか。何のために存在しているのですか
2. その使命達成のために、目標をどこにしていますか
3. そのために、どの市場を対象にしていきますか
4. その市場に、どの製品・サービスを提供していきますか
5. 何故、お客様はその製品・サービスを選んでくれるのですか
6. その魅力・競争力は、将来にわたって有効なものですか
7. その競争力を高めるために、どのように経営資源の重点配分を行っていますか

これらの質問に答えるためには、いずれも客観的な情報や分析と組織を構成する人間の主観的な志と未来への洞察が必要となります。今回は、事業構想の内容について説明させていただきます。

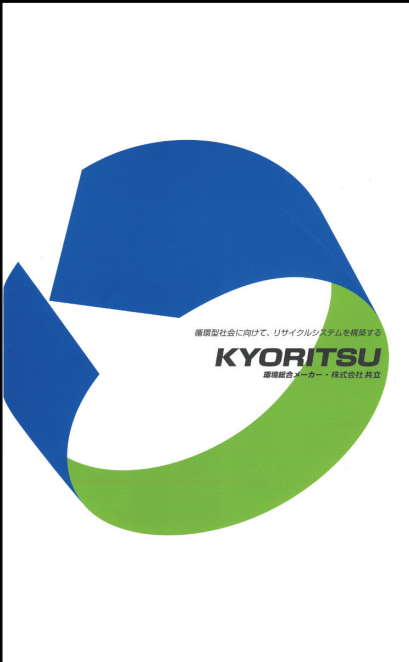


境川の源流を訪ねてみよう。
とつてもとつてもちいさな旅

「ちいさな旅」のスタートにあたり、選んだ場所は、SICから車で10分の境川源流です。町田街道を高尾に向かい、途中、大戸橋を左に曲がり、大地沢青少年センターキャンプ場の奥に境川源流があります。ここは、静かな森、清流の音、鳥の声、豊かな自然が楽しめる場所として、ハイキングやキャンプに多くの人が訪れます。キャンプ場から静かな森の中へ進むと、今年の夏の集中豪雨の爪あとが残っていました。山が崩れ、あふれ出した流木と土石流の中、ひっそりとたたずむ境川源流入口の標識を見つけました。今回のちいさな旅は、自然の豊かさや驚異との出会いとなりました。身近な場所にある自然、境川の源流をたずねてみませんか。

撮影者：SIC稲垣中村 撮影日時：08年11月

SIC事業紹介



会社案内/ロゴマーク制作
(株)共立



「新現役チャレンジ支援事業」ロゴマーク
(独) 中小企業基盤整備機構



腰痛軽減簡易装着型
自動車シート
「Support Cushion α」
(株)ソーアップ

※2003カーグッズオブザイヤーグランプリ受賞



会社案内制作
(株)ハイスポット



携帯電話のカスタムジャケット
(株)コバヤン精密工業



虫よけブレス
(株)イノウエ



ウェブ制作 <http://sagaman.jp/>
(株)サガミ

デザイン支援

SICは女子美術大学などの近隣の大学や若手デザイナーと連携し、地元中小企業の皆様の商品デザイン、用途開発、ロゴマーク、ホームページ、会社案内を数多く手がけてきました。

最近では人材の採用を目的としたホームページや会社案内のリニューアルでの依頼が増えています。会社の情報を常に発信しているホームページは人材を採用する上で不可欠なツールとなりつつあります。是非、SICにご相談ください。(SICデザイン支援担当 山本 満)

SICイベントカレンダー 2008年11月～

- 12月9日(火) 南西フォーラム 産学マッチング会
- 12月12日(金) 川上・川下ネットワーク構築事業 inさがみはら 第2回交流会
- 12月18日(木) SICもちつき大会
- 2月3日(火) 第12回経営者セミナー

デザイン BYSPICE DESIGN

編集後記: 入居企業の方々とコミュニケーションツール「SICかわらばん」の発行から5年目を迎え、念願がなって「SICかわらばん—地域版—」を創刊する事となりました。皆様からどんどん意見をいただき、共に成長していきたいとスタッフ一同心から願っています。これからも、どうぞ宜しくお願いいたします。皆様の声をお待ちしています。次回は2月発行予定です。(SIC荻島)



★ご意見・ご感想をお待ちしています。
(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒229-1131 相模原市西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 E-mail: sic@sssc.co.jp

「新・挑戦する独創企業」 SICからのお知らせ
—なぜ、この会社はこだわり続けるのか!—

経営塾で御馴染み 寺本明輝氏
共著 (浜銀総合研究所) のご紹介

本書で紹介されている企業は、製品・サービス、事業の仕組み、あるいはマネジメントにおいて、独自の

取り組みを展開し、好業績を上げている中小企業です。中小企業の新しい動きとともに、時を越えて存在する経営の基本原則のようなものを伝えています。

●SICでご購入頂けます。1冊1,890円



ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>